

公立大学法人大阪

2019事業年度の業務実績に関する評価結果の概要

大阪府市公立大学法人大阪評価委員会
(事務局 大阪府府民文化部府民文化総務課)

公立大学法人大阪の各事業年度の業務実績については、地方独立行政法人法に基づき、大阪府市公立大学法人大阪評価委員会による評価を受けることとなっており、令和2年8月18日に開催された令和2年度第3回評価委員会において、2019事業年度の業務実績の評価結果が決定されました。

全体評価 「おおむね年度計画及び中期計画のとおり進捗している」

- 大項目について、5項目がA評価（計画どおり進捗）、3項目がB評価（おおむね計画どおり進捗）であることを確認した。
- 委員会コメント
全体としておおむね年度計画及び中期計画のとおり進捗していると評価できる。評価にあたっての意見、指摘等を踏まえ、次年度以降引き続き中期計画及び年度計画の達成に向けて取り組みを期待する。また、年度計画を十分に実施できていない項目については、次年度以降適切に取り組みを進められたい。

大項目	評価					主な判断理由・特記事項
	S	A	B	C	D	
大阪府立大学の教育研究	S	A	B	C	D	グローバル人材の育成におけるシラバスの英語化が次年度に持ち越しとなったことや府立大学の入試において出題ミスが生じたものの、産学協同による人材育成、戦略的な外部資金獲得及び諸機関との連携・地域課題への対応の取り組みが年度計画を上回って実施しているなど、他の項目も総合的に判断し、おおむね計画通りの進捗が認められた。
大阪市立大学の教育研究	S	A	B	C	D	地域における人材育成については、公開講座受講者動向調査が未実施であるなど年度計画を十分に実施できないと認められるものの、先端的研究分野での産学官連携や国際連携活動の充実の取り組みが年度計画を上回って実施しているなど、他の項目も総合的に判断し、おおむね計画どおりの進捗が認められた。
大阪府立大学工業高等専門学校 の教育研究	S	A	B	C	D	学生の海外派遣（専攻科）、アドミッションポリシーに基づく学生の受入れ及び研究成果の発信・還元の取り組みが年度計画を上回って実施しているなど、他の項目も総合的に判断し、計画どおりの進捗が認められた。
業務運営の改善 及び効率化	S	A	B	C	D	ダイバーシティの推進については、女性教員比率が目標数値に届いていないなど年度計画を十分に実施できないと認められるものの、組織的なデータ収集等の取り組みが年度計画を上回って実施していることが認められるなど、他の項目も総合的に判断し、おおむね計画どおりの進捗が認められた。
財務内容の 改善	S	A	B	C	D	自己収入の確保や業務の効率化及び適正化の取組が年度計画を上回って実施していることや、当期総利益については外部資金獲得を進めるなどの法人の経営努力が認められることなど、他の項目も総合的に判断し、計画どおりの進捗が認められた。
自己点検・評価 及び情報提供	S	A	B	C	D	戦略的な研究広報や市民への広報活動の強化の取り組みが年度計画を上回って実施しているなど、他の項目も総合的に判断し、計画どおりの進捗が認められた。
その他業務運営に 関する重要目標	S	A	B	C	D	その他業務運営に関する重要目標について、全ての取り組みにおいて年度計画を順調に実施していることなど、総合的に判断し、計画どおりの進捗が認められた。
両大学の統合等に 関する重要目標	S	A	B	C	D	両大学の重要統合等に関する目標について、全ての取り組みにおいて年度計画を順調に実施していることなど、総合的に判断し、計画どおりの進捗が認められた。

※評価区分 S：特筆すべき進捗状況 A：計画どおり B：おおむね計画どおり C：やや遅れている D：重大な改善事項あり